



さくらこぼし
桜小橋

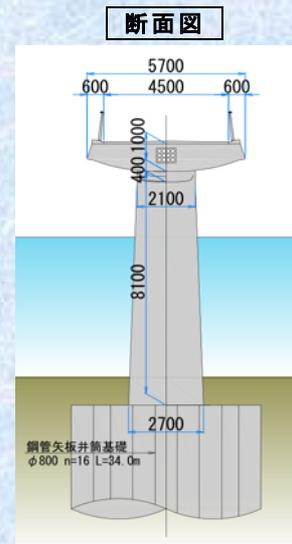
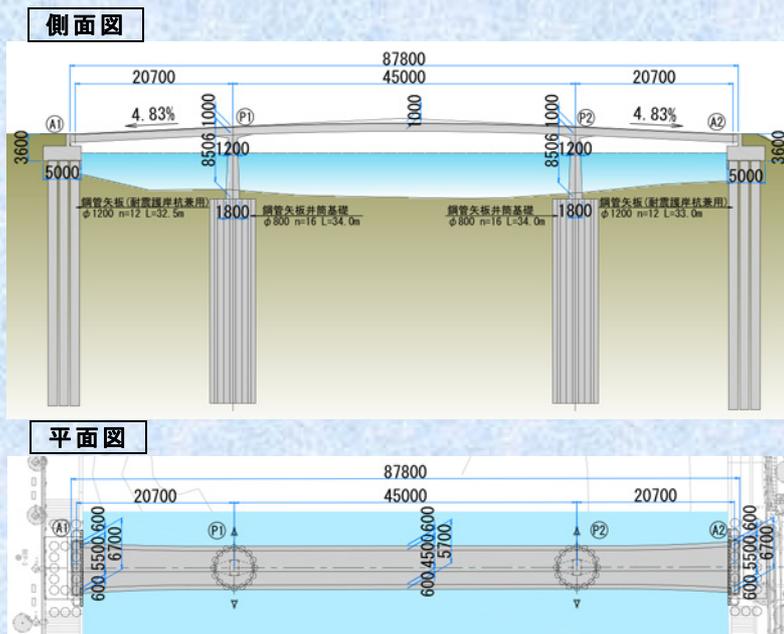
本橋（工事名：朝潮運河歩行者専用橋）は、中央区朝潮運河に位置し、周辺の既設橋梁における歩道の混雑緩和と災害時の避難路確保の目的で架橋が計画された橋長87.8mのPC 3径間連続ラーメン構造の歩行者専用橋です。

当社は、以下に示します本橋に課せられた厳しい制約条件の中、基礎工、下部工、上部工の施工を行いました。特に上部工では、今まで当社では施工実績のない、高強度コンクリート $\sigma_{ck}=70\text{N/mm}^2$ の場所打ち施工、台船によるPC桁架設を行いました。

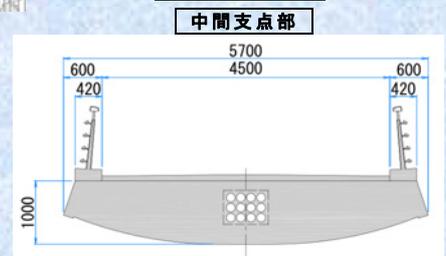
- ・朝潮運河の航路条件である桁下制限高AP+4.5m、幅40m（施工時20m）を確保
- ・商業施設に配慮し、晴海側の取付け高は現況通り
- ・車いす対応の斜路などユニバーサルデザインへ配慮した構造
- ・隣接する商業施設、民家、運河に対する環境対策（騒音、振動、汚濁防止対策など）



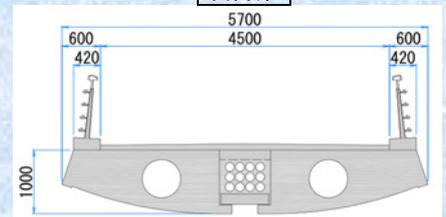
◆一般図



断面詳細図



支間部

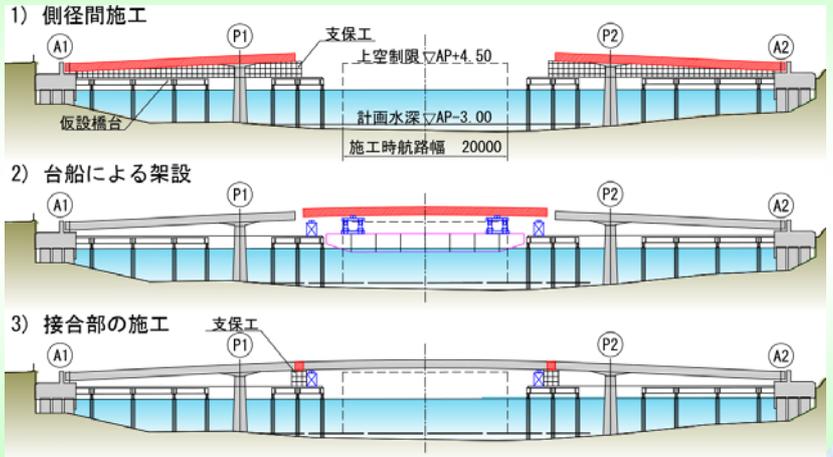


◆橋梁諸元

- 工事名：歩行者専用橋梁整備工事（下部工及び上部工）
 発注者：中央区
 設計者：(株)エイト日本技術開発
 位置：東京都中央区勝どき～晴海
 道路規格：歩道橋
 形式：PC 3径間連続ラーメン橋
 荷重：群集荷重
 橋長：87.8m(21.2+45.0+21.2m)
 総幅員：5.7～7.1m(有効幅員 4.5～5.5m)
 架設工法：固定支保工架設工法、台船一括架設工法
 PC鋼材：主方向：SWPR7BL 12S15.2（ディビダーク工法）
 仮設鋼材：SBPR 1S28.6（SM工法）

◆構造・施工概要

- 1) 高強度コンクリート(70N/mm²)の場所打ち施工にあたり、使用コンクリートは、土木設計部、技術研究所と共同で温度解析やコンクリートの性状確認基礎試験を行い、低熱セメントを使用した高流動コンクリートとしました。
- 2) 約5%の縦断勾配をもつ主桁の表面仕上げは、大、小試験体による事前試験を実施して、透水性シートを使った伏せ型枠で行うこととしました。
- 3) 本橋の架設中における航路閉鎖を最小限とするため、中央径間は、PC桁では実績のほとんど無い台船架設を実施しました。
- 4) A1、A2側径間を場所打ち施工し、作業鋼台上で製作した中央径間を台船により、連続する2日間(昼間施工)で架設し、接合部(間詰め部)を場所打ち施工しました。



台船架設状況写真

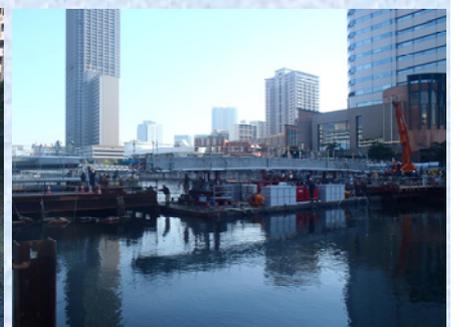
施工概要図



主桁引き出し



台船離岸



主桁1本目台船架設



主桁2本目台船架設



主桁2本目最終調整



台船架設終了

◆工程表

項目	平成26年			平成27年								平成28年													
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
準備工																									
仮設工																									
橋台工																									
橋脚工																									
上部工(場所打ち部)																									
上部工(台船架設部)																									
附属物工																									
跡片付け																									

(橋面工事は当社が別途実施)



発行：三井住友建設(株)土木本部 土木設計部
 連絡先：東京都中央区佃2丁目1番6号 TEL.03-4582-3063
 URL：http://www.smcon.co.jp